

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	予防接種事業	会計名称	一般会計		担当課	健康増進課	
		予算科目	4 款 1 項 3 目	事業番号	2100	所属長名	下岡裕基
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	大谷香代子	
法令根拠等	予防接種法				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	予防接種の接種率を高め、疾病の発生及びまん延を予防することで健康な状態を維持し、健康寿命の延伸を目指す。						
事業の対象	乳幼児、児童、65歳以上の高齢者			事業の目的	各種予防接種の実施により、伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とする。		
事業の内容 (整備内容)	予防接種法上定められている疾病に対する予防ワクチン及び予防接種法に基づかない任意接種を医療機関に委託して個別接種を実施する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	法改正に伴い、大人の風しん抗体検査及び風しん5期予防接種が円滑に実施できるよう、対象者や実施機関への周知に努める。また、乳幼児及び高齢者の定期接種の接種率が向上するよう効果的な時期に接種勧奨を行う。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	93,781	98,172	△ 1,073	0	0	91,329	定期接種 (A類疾病) 接種者	人	6346	6501	2940	5967
財源内訳												
国庫支出金	0	3,303	△ 977	0	0	1,996						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	定期接種 (B類疾病) 接種者	人	8946	8539	142	8074
一般財源	93,781	94,869	△ 96	0	0	89,333						
職員の人工 (にんく) 数	1.20	1.45				1.45	風しん抗体検査実施者数	人	0	950	268	424
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	103,359	109,760				102,917						
主な実施主体	一部委託 (医療機関・国保連合会)		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)	医療機関への委託料 (89,403千円)、国保連合会への請求審査の手数料 (153千円)								
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
					100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000		
成果指標	指標	MR (麻しん・風しん) 2期予防接種の接種率	単位	⇒	区分年度	前 年度	1 年度	2 年度	目標 毎 年度			
			%		目標	100	100	100	100			
	指標設定の考え方	日本は麻しんの排除状態にあると認定されたが、近年、免疫を持たない年齢層での麻しん・風しんの流行がみられており、社会的に与える影響は大きい。標準的な時期にMR (麻しん・風しん) 予防接種を受けることで、麻しん・風しんの発症を防ぎ、重篤な後遺症や先天性風しん症候群の発生を無くすことができる。			実績	96.5	95.9					
	指標で表せない効果	重症疾患を持ち長期療養している方や保護者の考えにより接種されない方もあり、接種率を100%にすることは困難である。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		風しん抗体保有率の低い年代の男性を対象に、今年度から3か年の時限措置で風しん抗体検査を実施しているが、1年目の実施率が予想より低い。高齢者の肺炎球菌は、70歳以上の未接種者を対象とする経過措置が延長されたが、接種率が低い。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が	S	事業成果・工夫した点	保育所・幼稚園の健康講座で保護者へ接種勧奨をしたり、教育委員会の協力で、小学校・中学校への進学案内の機会を活用し、勧奨チラシの配布を実施した。子どもの予防接種 (A類) は比較的高い接種率を維持している。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	5						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多々ある。	3						
	効率的	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	風しん抗体検査及び予防接種については、無料クーポン券の発送時期が、多くの方が職場健診が終わった後となり、健診と合わせた効果的な受診につながらなかった。次年度は、できるだけ早期に送付できるよう努める。令和2年10月から新たな予防接種の定期接種化や、接種間隔の変更があるため、安全に実施できるよう対象者や医療機関等へ正しく周知する必要がある。		
			コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3						
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が	S			事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 予防接種法に基づき、実施が義務付けられている事業であるため、継続していく必要がある。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	5						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多々ある。	4							
効率的	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	所属長の課題認識	今年度から風しん抗体検査・予防接種が開始されたが、無料クーポン券の発送時期の関係で当初の想定よりも未受診者が多かったため、今後も事業の周知に努めていく必要がある。			
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3							
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 「予防接種法」に基づく本事業は、公衆衛生の向上や健康被害の低減等において必要な事業であり、継続と判断する。なお、令和2年度より中学3年生を対象としたインフルエンザ予防接種を開始するが、任意接種であり、接種状況を確認する等その必要性を検証する必要がある。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	